

2016年2月25日

日 本 銀 行

月例経済報告等に関する 関係閣僚会議・資料

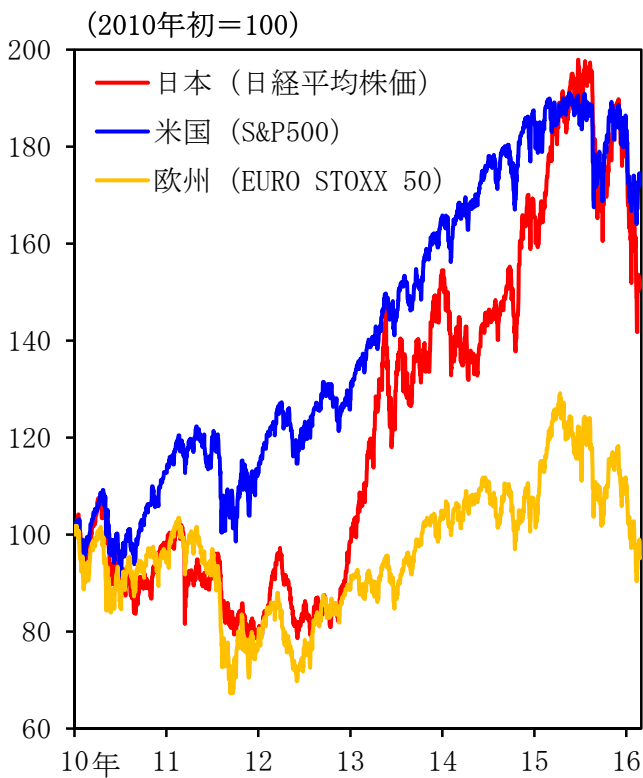
—— 最近の金融資本市場の動き ——

1. 株価

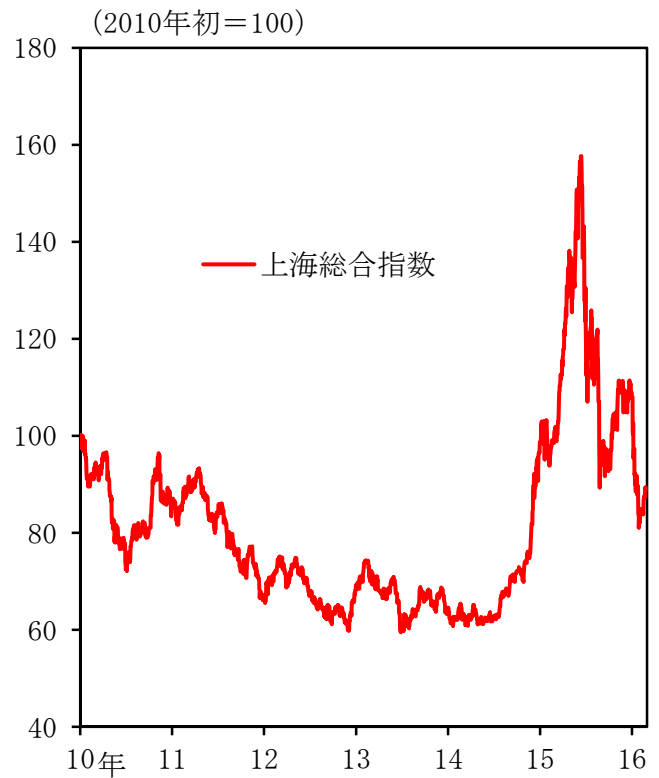
(1) 日経平均株価



(2) 主要国の株価

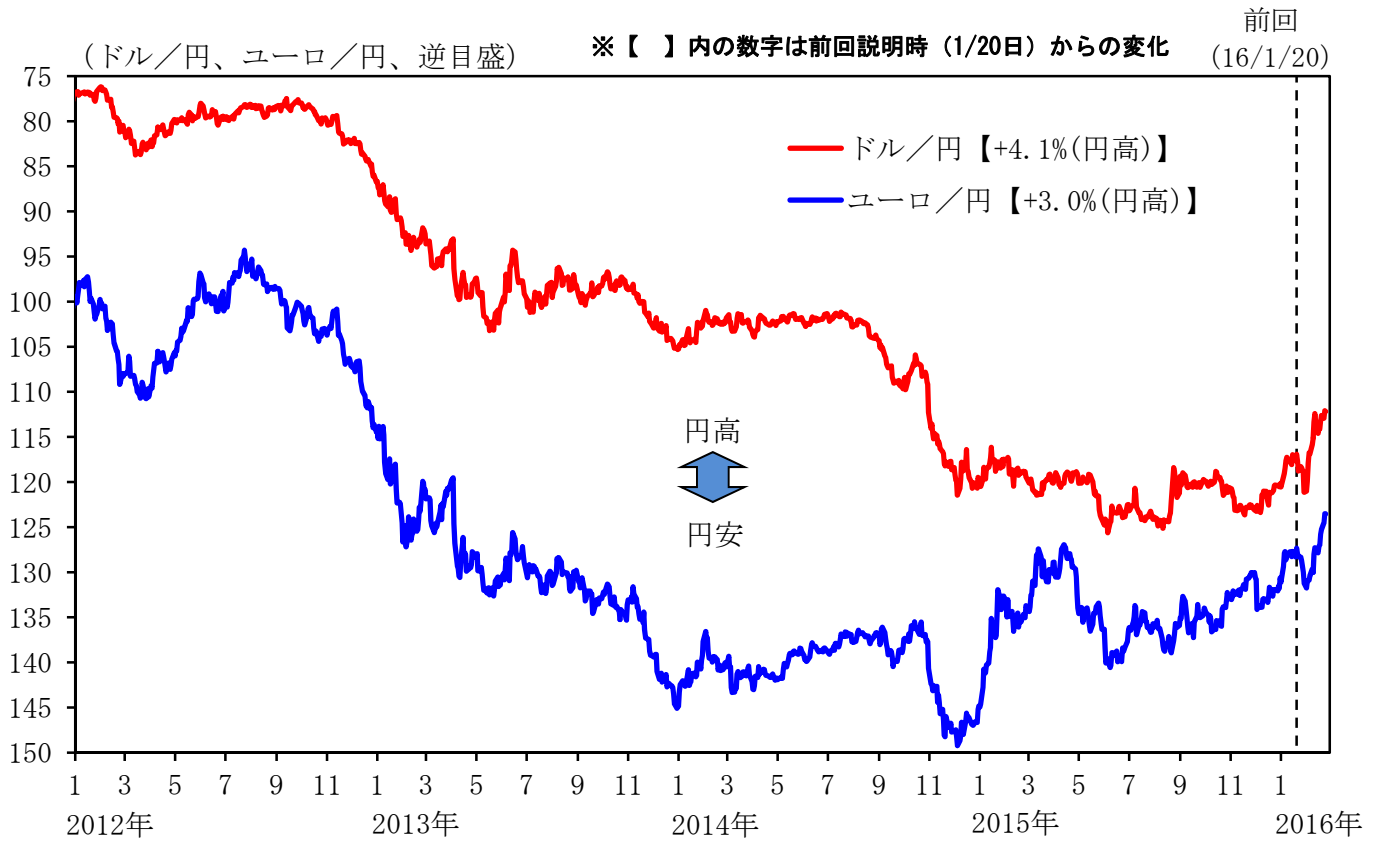


(3) 中国の株価

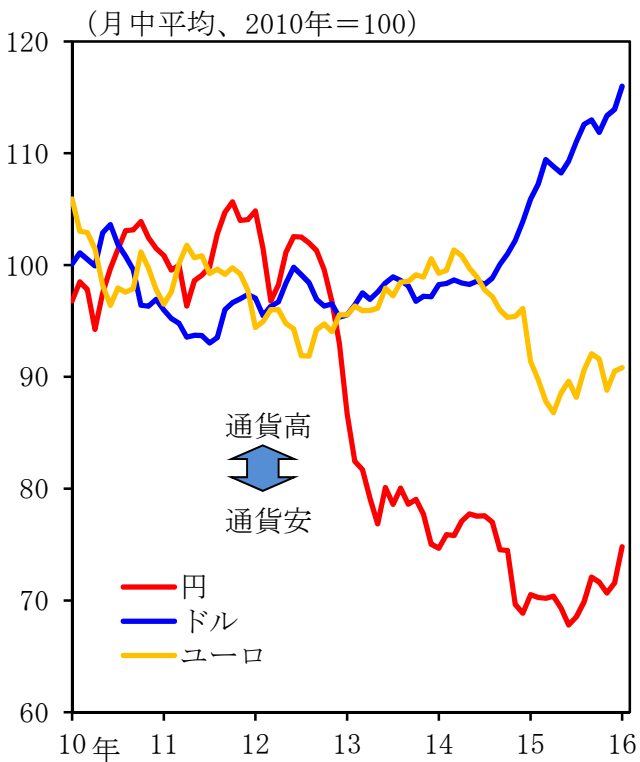


2. 為替相場

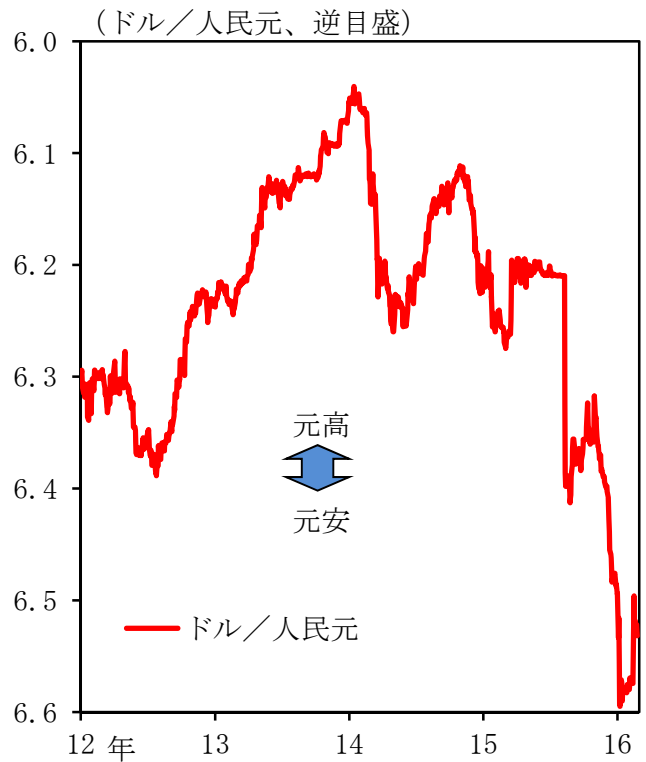
(1) ドル円・ユーロ円相場



(2) 実質実効為替レート

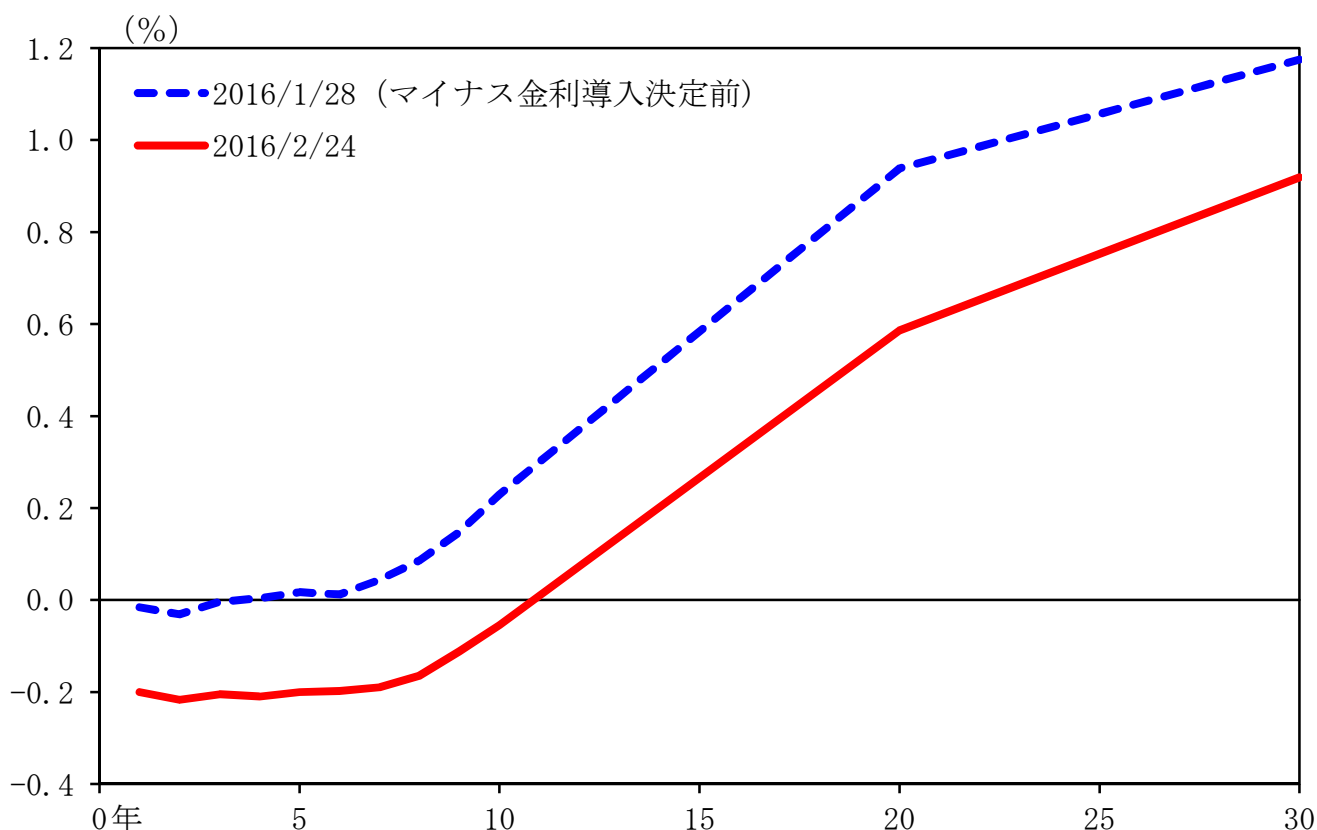


(3) 人民元相場



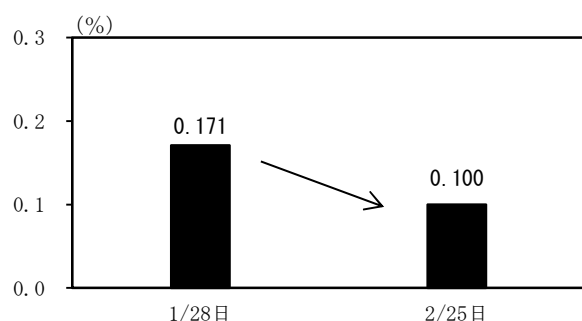
3. 「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」導入後の金利の動向

(1) 国債利回りの動向

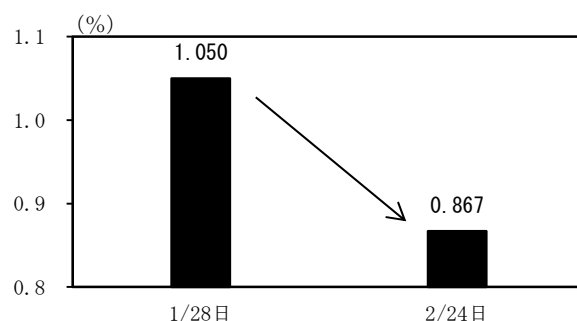


(2) 貸出のベース金利

① TIBOR (3M)

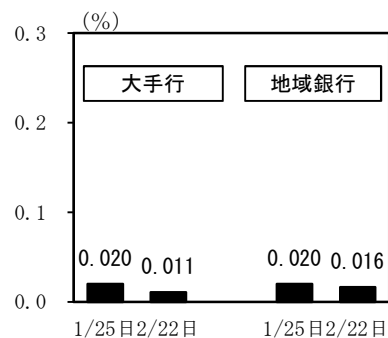


② 住宅ローン金利 (大手3行の平均、10年固定)

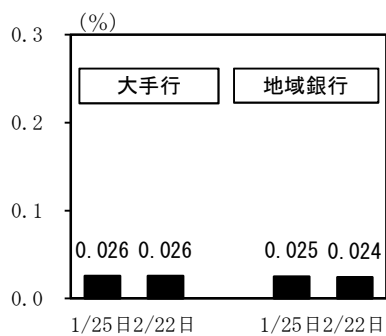


(3) 預金金利

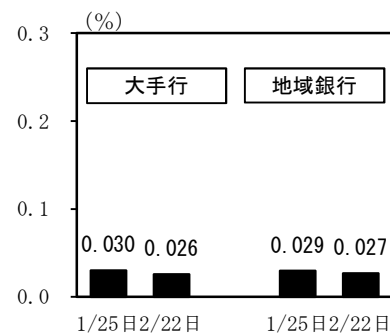
① 普通預金



② 定期預金 (1年)



③ 定期預金 (3年)



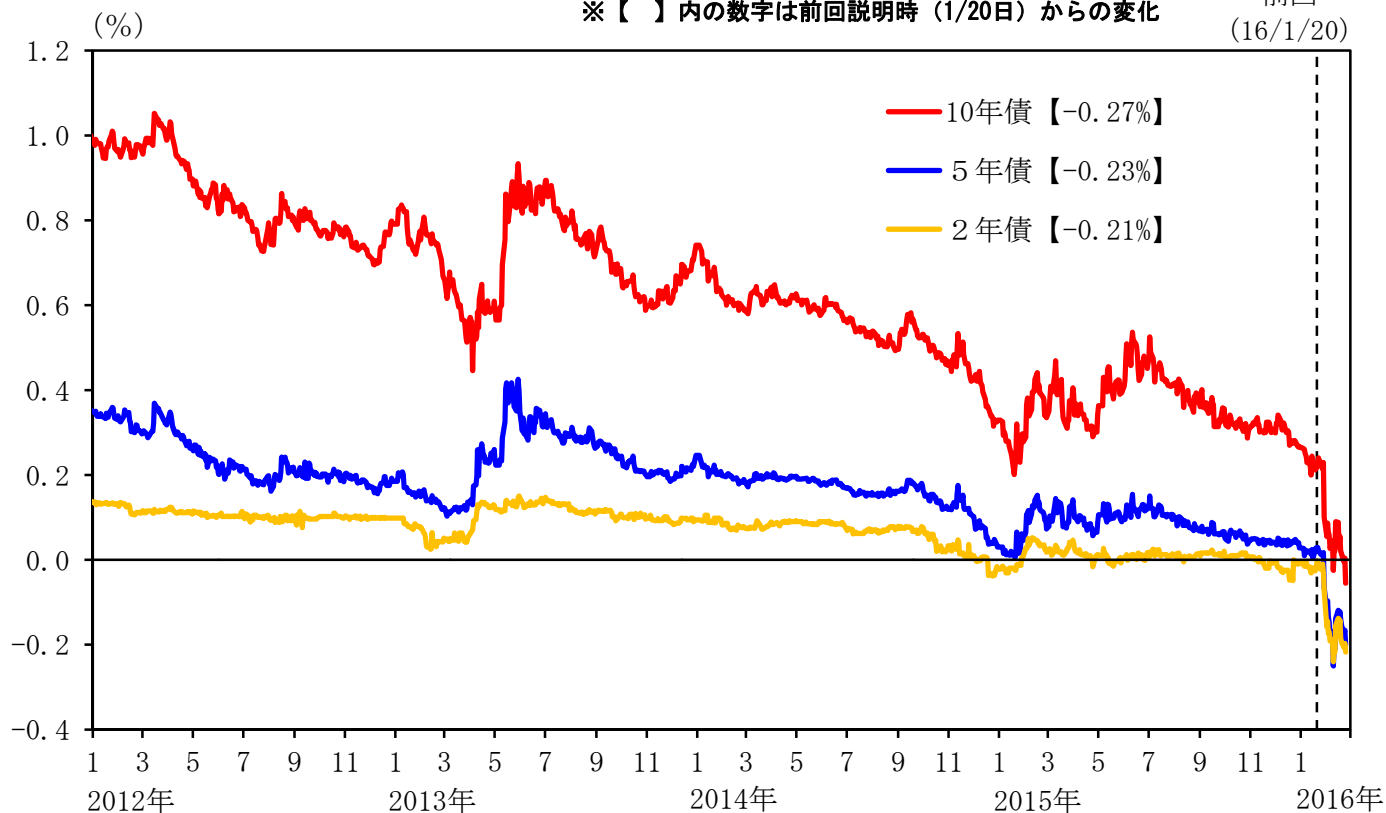
(注) 預金金利は、店頭表示金利の単純平均。定期預金(1年・3年)は、300万円未満。
 大手3行は、みずほ、三菱東京UFJ、三井住友。大手行は、大手3行及び
 りそな、埼玉りそな、三菱UFJ信託、みずほ信託、三井住友信託、新生、あおぞらの10行。

4. 長期金利

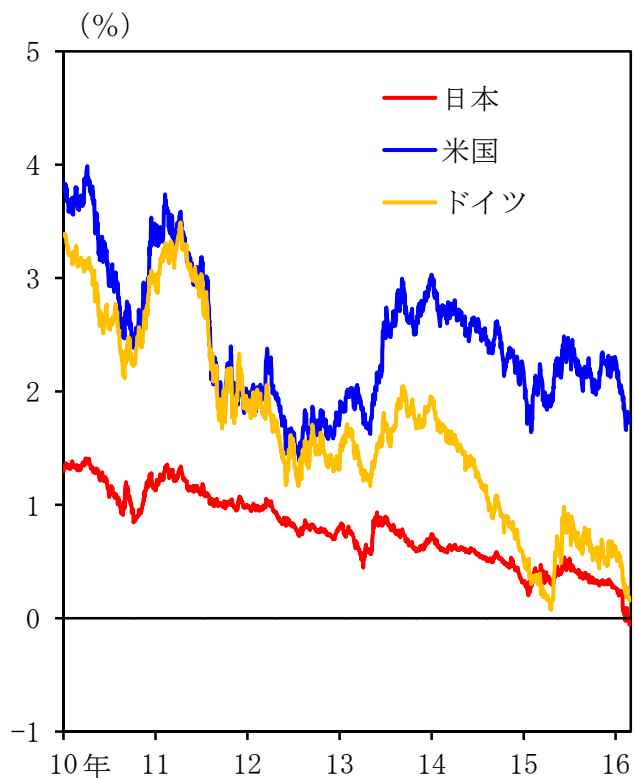
(1) 日本国債利回り

※【 】内の数字は前回説明時（1/20日）からの変化

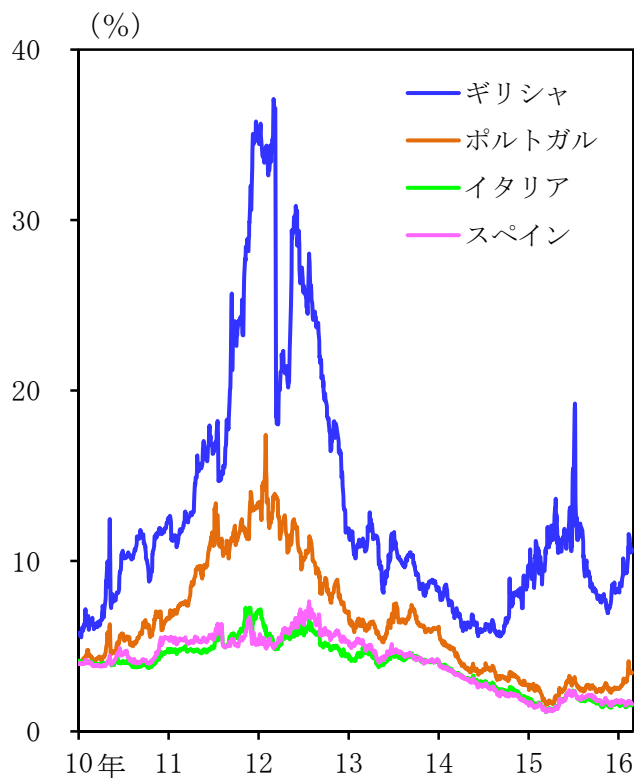
前回
(16/1/20)



(2) 主要国の長期金利



(3) 欧州周縁国の長期金利



参考1. マイナス金利付き量的・質的金融緩和

「量」・「質」に「マイナス金利」を加えた

3つの次元で

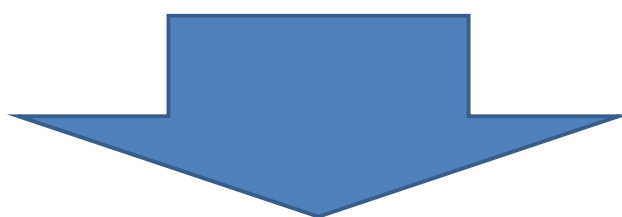
追加緩和可能なスキーム

金融機関が保有する日銀当座預金に

▲0.1%の

マイナス金利を適用

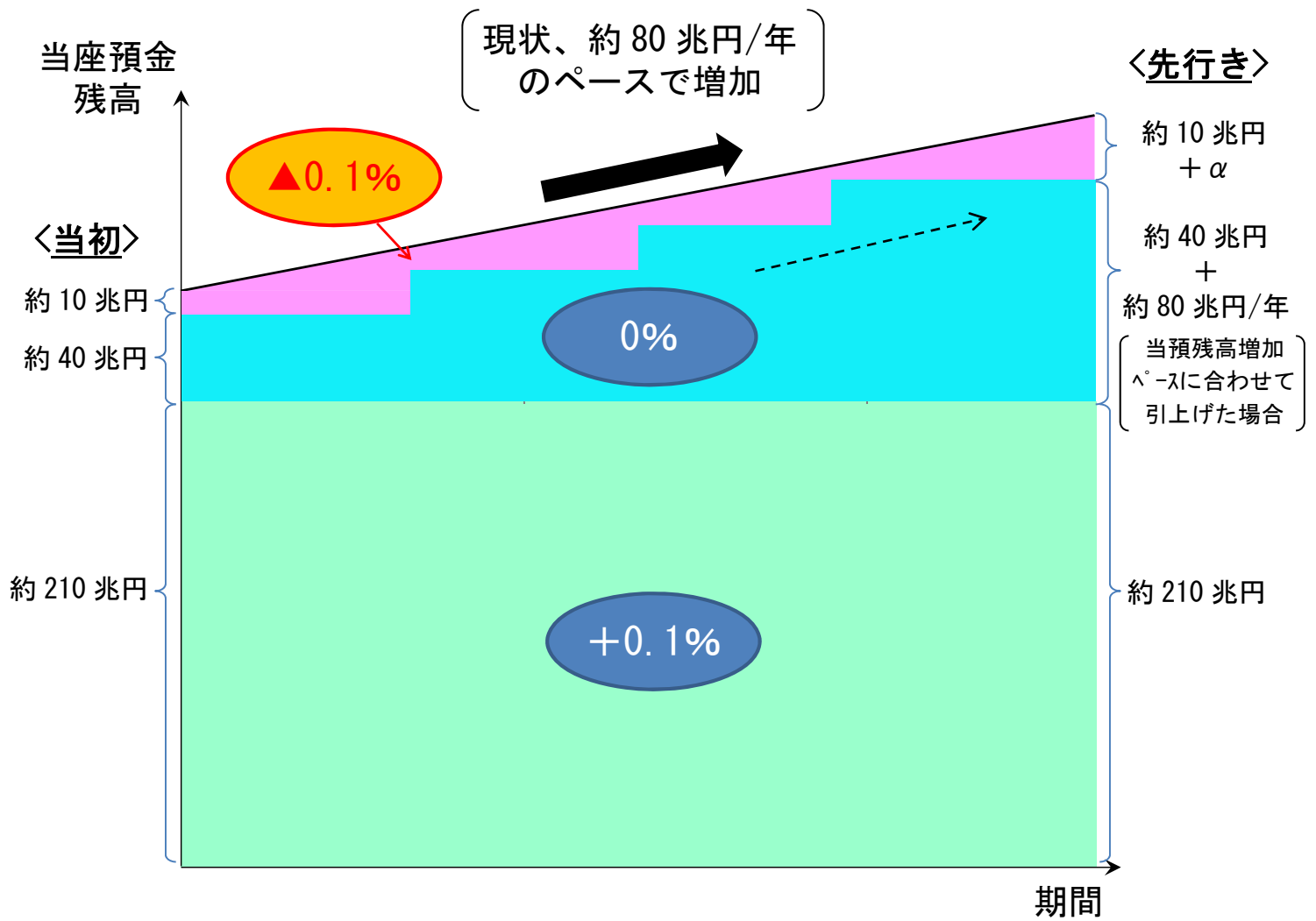
今後、必要な場合、さらに金利を引き下げる



大規模な長期国債買入れとあわせて
金利全般により強い下押し圧力を加える

なお、成長基盤強化支援、貸出増加支援、被災地支援オペは無利息で実施する

参考2. マイナス金利の仕組み：3段階の階層構造



参考3. 展望レポート（2016年1月）の経済・物価見通し

2015～2017年度の中心的な見通し

【景気】2016年度にかけて潜在成長率を上回る成長を続けると予想される。
 2017年度は、減速しつつも、プラス成長を維持すると予想される。
 —— 従来の見通しから概ね不変。

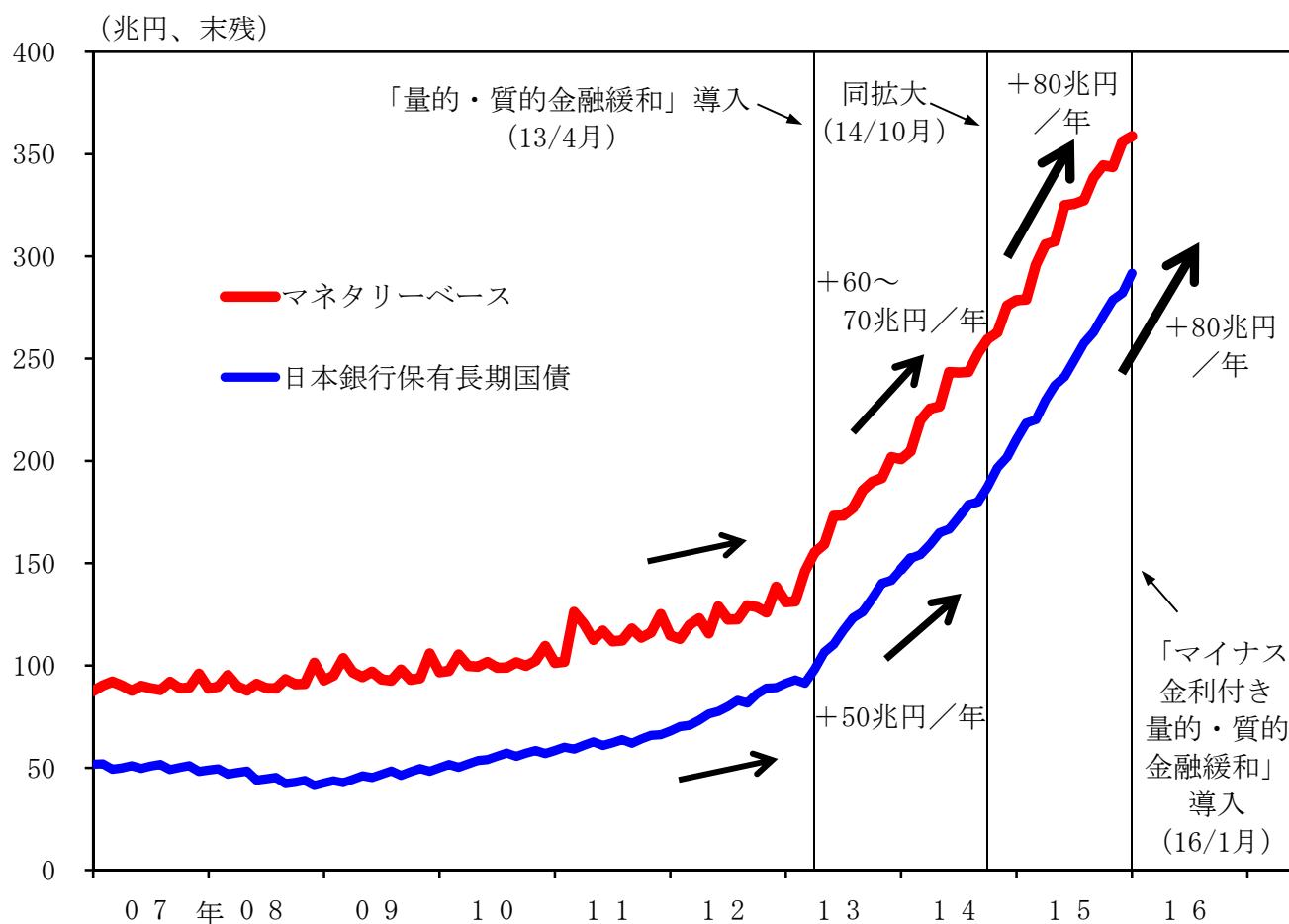
【物価】消費者物価の前年比は、当面0%程度で推移するが、物価の基調は着実に高まり、「物価安定の目標」である2%に向けて上昇率を高めていく。2%程度に達する時期は、原油価格が現状程度の水準から緩やかに上昇していくとの前提のもとでは、2017年度前半頃になると予想される。
 —— 2016年度については、原油価格の想定を下振れさせたことから下振れ。

▽ 政策委員見通しの中央値（対前年度比、%）

	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)	消費税率引き上げの 影響を除くケース
2015年度	+1.1	+0.1	
(10月の見通し)	+1.2	+0.1	
2016年度	+1.5	+0.8	
(10月の見通し)	+1.4	+1.4	
2017年度	+0.3	+2.8	+1.8
(10月の見通し)	+0.3	+3.1	+1.8

※ 原油価格（ドバイ）は、1バレル35ドルを出発点に、見通し期間の終盤にかけて40ドル台後半に緩やかに上昇していくと想定している。その場合の消費者物価（除く生鮮食品）の前年比に対するエネルギー価格の寄与度は、2015年度で-0.9%ポイント程度、2016年度で-0.7~0.8%ポイント程度と試算される。また、寄与度は、2016年度後半にマイナス幅縮小に転じ、2017年度前半中には概ねゼロになると試算される。

参考4. マネタリーベースと長期国債保有残高の推移



(単位：兆円)

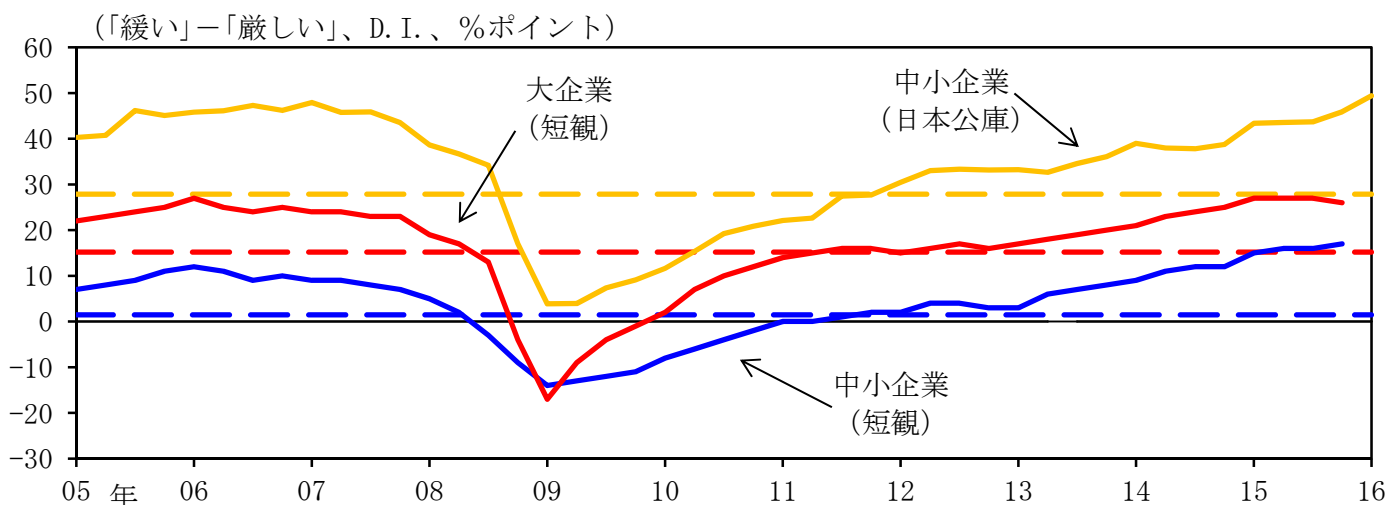
	13年末	14年末	15年末	16年1月末	今後の年間増加ペース
マネタリーベース	202	276	356	359	+約80兆円

(バランスシート項目の内訳)

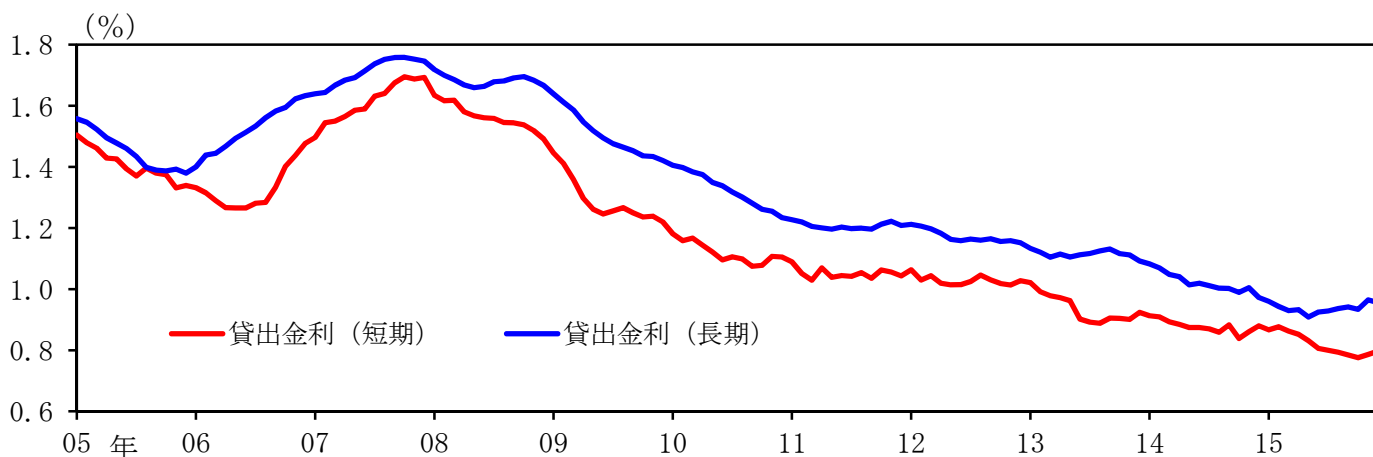
長期国債	142	202	282	292	+約80兆円
ETF	2.5	3.8	6.9	7.2	+約3兆円 →2016年4月以降 +約3.3兆円
J-REIT	0.14	0.18	0.27	0.28	+約900億円

参考5. 国内の金融環境

(1) 企業からみた金融機関の貸出態度

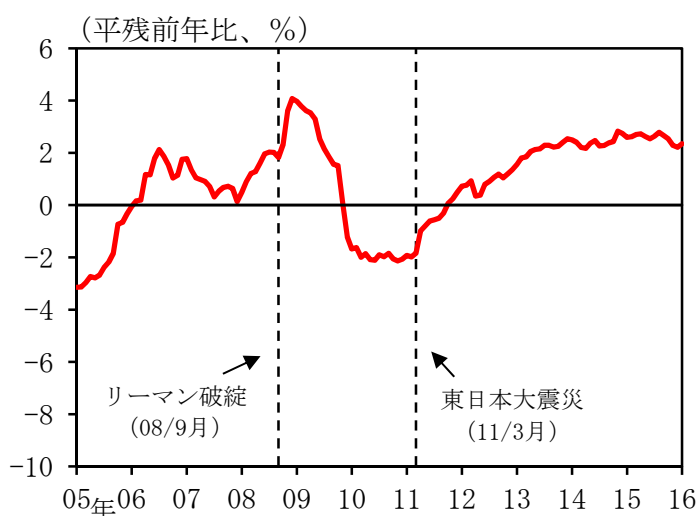


(2) 貸出金利

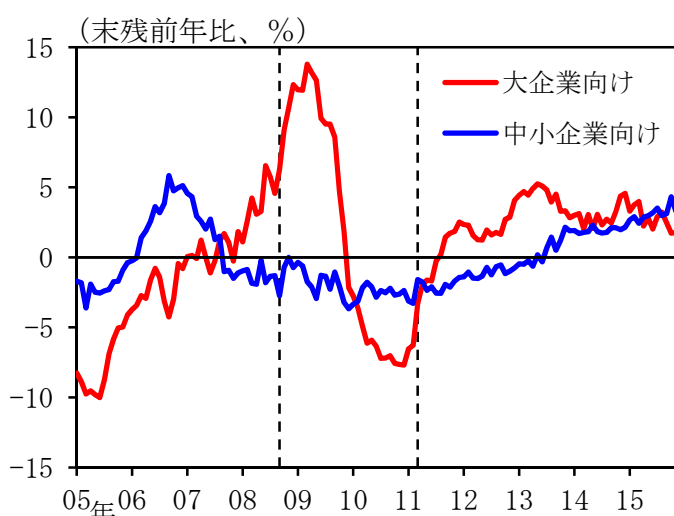


(3) 貸出残高

① 民間銀行貸出残高



② 企業向け貸出の内訳



- (注) 1. (1) の点線は、2000年以降の平均値。日本公庫のD.I.は「緩和」-「厳しい」。
 なお、2016/1Qの日本公庫のD.I.は1月の値。
 2. (2) は、貸出約定平均金利 (国内銀行、新規実行分) の後方6か月移動平均値。
 3. (3) ①の貸出残高には、企業向けのほか、個人向け、地方公共団体向け等も含む。